

## 取扱いの趣旨

網膜動脈硬化症等は、精密眼底検査により診断や経過観察が可能であることから、眼底三次元画像解析の算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和7年1月31日》

428 眼底三次元画像解析（うっ血乳頭等）の算定について

### ○ 取扱い

① 次の傷病名に対するD256-2眼底三次元画像解析の算定は、原則として認められる。

(1) うっ血乳頭 (2) 視神経萎縮 (3) 緑内障疑い（初診時）

② 次の傷病名に対するD256-2眼底三次元画像解析の算定は、原則として認められない。

(1) 網膜動脈硬化症 (2) 白内障

### ○ 取扱いを作成した根拠等

眼底三次元画像解析は、通常眼底検査では確認できない網膜・脈絡膜や視神経乳頭の断層面を立体的に観察できる検査である。網脈絡膜疾患における診断、病変部位の同定並びに経過観察、緑内障における網膜神経線維層の欠損と視神経乳頭陥凹の程度の判定による早期診断に有用である。

一方、網膜動脈硬化症や白内障は、精密眼底検査により診断や経過観察が可能であり、当該検査の必要性は低いと考えられる。

以上のことから、上記①の傷病名に対するD256-2眼底三次元画像解析の算定は原則として認められるが、②の傷病名に対する算定は原則として認められないと判断した。

## 検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	大分、長崎、山口、宮城	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	宮城	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	大分、長崎、山口、宮城	//

### ■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名より、網脈絡膜の疾患があり、当該疾患の診断や網膜萎縮等の早期発見のために必要な検査であることから、妥当と判断した事例

### ■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

該当件数に対する検証結果

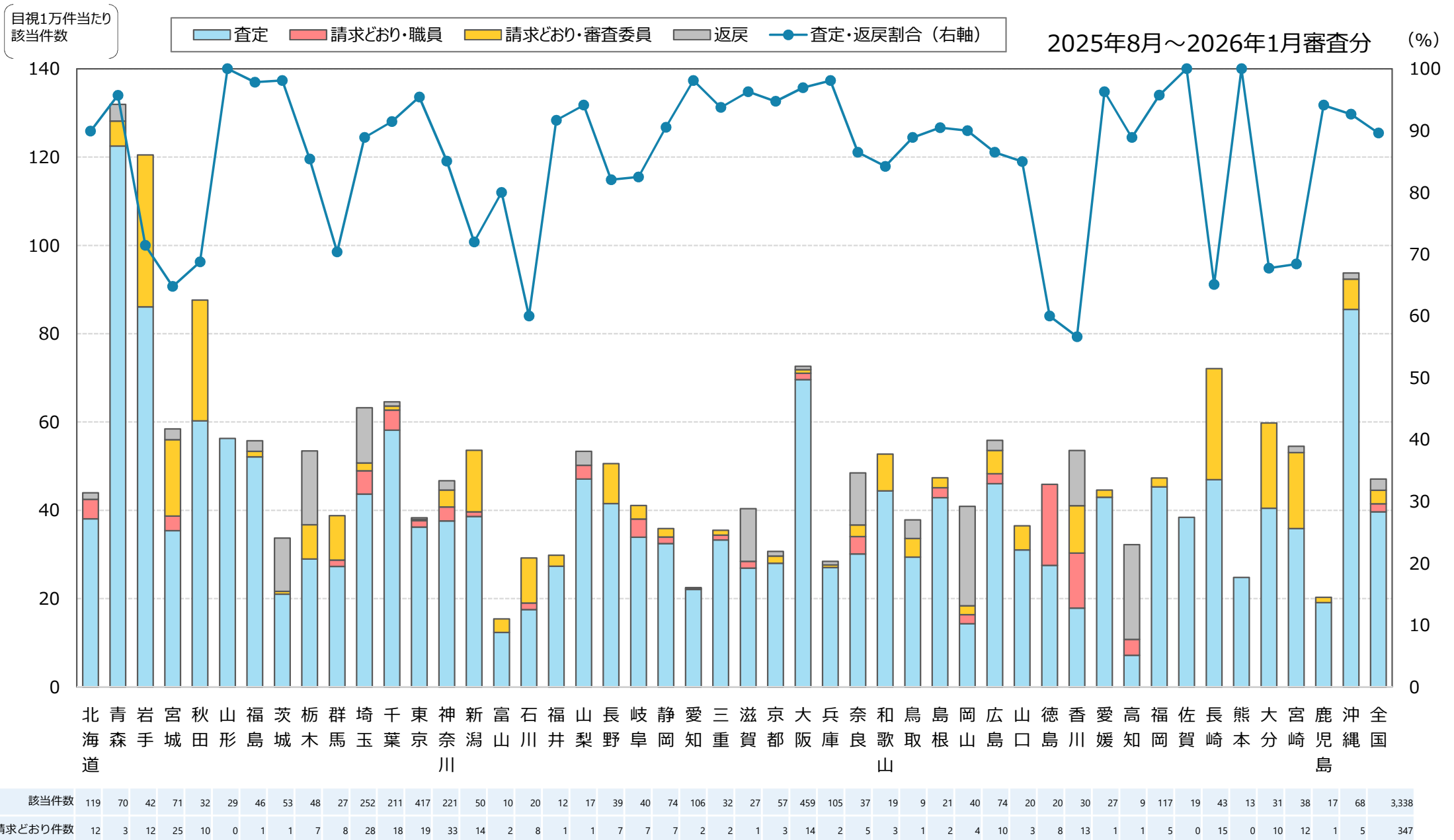
2025年8月～2026年1月審査分

検証の結果、該当件数3,338件のうち、**取扱いと異なる審査は67件（2.01%）**  
検証対象25都道府県のうち、**フォローアップ対象は4都道府県**

都道府県		検証結果										
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
			適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計					
01	北海道	119	116	97.48%	103	4	107	9	3	2.52%	3	0
02	青森	70										
03	岩手	42	40	95.24%	30	0	30	10	2	4.76%	0	2
04	宮城	71	62	87.32%	43	3	46	16	9	12.68%	3	6
05	秋田	32	30	93.75%	22	0	22	8	2	6.25%	0	2
06	山形	29										
07	福島	46										
08	茨城	53										
09	栃木	48	46	95.83%	26	15	41	5	2	4.17%	0	2
10	群馬	27	26	96.30%	19	0	19	7	1	3.70%	1	0
11	埼玉	252	244	96.83%	174	50	224	20	8	3.17%	6	2
12	千葉	211										
13	東京	417										
14	神奈川	221	206	93.21%	178	10	188	18	15	6.79%	4	11
15	新潟	50	49	98.00%	36	0	36	13	1	2.00%	1	0
16	富山	10	9	90.00%	8	0	8	1	1	10.00%	0	1
17	石川	20	20	100.00%	12	0	12	8	0	0.00%	0	0
18	福井	12										
19	山梨	17										
20	長野	39	39	100.00%	32	0	32	7	0	0.00%	0	0
21	岐阜	40	38	95.00%	33	0	33	5	2	5.00%	1	1
22	静岡	74										
23	愛知	106										
24	三重	32										

都道府県		検証結果										
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
			計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻						
						査定	返戻	査定 返戻 計	詳記等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員
25	滋賀	27										
26	京都	57										
27	大阪	459										
28	兵庫	105										
29	奈良	37	36	97.30%	23	9	32	4	1	2.70%	0	1
30	和歌山	19	19	100.00%	16	0	16	3	0	0.00%	0	0
31	鳥取	9	9	100.00%	7	1	8	1	0	0.00%	0	0
32	島根	21										
33	岡山	40	40	100.00%	14	22	36	4	0	0.00%	0	0
34	広島	74	74	100.00%	61	3	64	10	0	0.00%	0	0
35	山口	20	17	85.00%	17	0	17	0	3	15.00%	0	3
36	徳島	20	20	100.00%	12	0	12	8	0	0.00%	0	0
37	香川	30	30	100.00%	10	7	17	13	0	0.00%	0	0
38	愛媛	27										
39	高知	9	9	100.00%	2	6	8	1	0	0.00%	0	0
40	福岡	117										
41	佐賀	19										
42	長崎	43	34	79.07%	28	0	28	6	9	20.93%	0	9
43	熊本	13										
44	大分	31	23	74.19%	21	0	21	2	8	25.81%	0	8
45	宮崎	38	38	100.00%	25	1	26	12	0	0.00%	0	0
46	鹿児島	17										
47	沖縄	68										
全国		3,338							67	2.01%	19	48

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数